

広島修大論集

第 40 卷 第 1 号

(通卷第 75 号)

—人文編—

論 文

我が国におけるバウムテスト研究の

変遷と展望 佐々木直美・小川 栄一・柿木 昇治 (1)

闘う身体はどこで語ればよいのか

—空手の身体と言説の秩序への

記号論的一考察 大山 智徳・湯浅良之助 (17)

野宿者問題のリアリティ

—阪神淡路大震災後の神戸市を事例として— 狩 谷 あゆみ (41)

情報産業論 (そのⅢ) 阿 部 耕一朗 (63)

近代日本における国民高等学校運動の系譜 (五) IV 加藤 完治 (中)

—日本国民高等学校運動の展開— 宇 野 豪 (79)

現職教員の学習ニーズと高等教育・研究機関の課題

..... 岡本 徹・大庭 宣尊・笹尾 省二・森川 泉・山川 肖美 (107)

外来語批判

—最近50年間の新聞資料の検討— 山田雄一郎・難波 恒子 (143)

サミュエル・ジョンソンの思想：その分析と再構成

—学問について (2)— 石 井 善 洋 (183)

Learning Words from Dictionaries and Context: a Replication James Ronald (209)

The Secret Life of Grammar Translation — Part 1 Malcolm J. Benson (225)

『リア王』におけるパラドックスと真理の在りか 熊 谷 次 紗 (251)

梁啓超の変法論と三世説 藤 井 隆 (277)

翻 訳

人はなぜ食べるのか(4)：発達初期における風味嗜好とその形成

(Mennella and Beauchamp, 1996 より) 坂井 信之・長谷川智子・今田 純雄 (329)

アメリー・ローティ編, 『哲学者の教育観』 相 馬 伸 (363)

論 文

明治十四年の政変への道程

—井上毅をめぐる「ドイツへの傾斜」の動き— 森 川 潤 (1)

研究ノート

近世村落の自律性について

—上総国野里村での村内不埒者に対する内済の過程から— 落 合 功 (31)

1999 年 9 月

広島修道大学人文学会